

あなたも参加しよう緑のまちづくり

緑のまちづくりは、行政だけで取り組むことには限界があります。そのため、市民や企業の皆さんなどと一緒に取り組みを進めていく必要があります。

身近なところに緑を

住宅地などでは、緑の環境を良くしていくための『緑地協定』というルールを決めて、そこに住んでいる皆さんがそのルールに従って植樹や管理をしていこうという制度があります。美崎が丘団地（大湯町）や、もみじが丘団地（もみじが丘町）などで実施されていて、樹木が多く生垣が連続しているなど、緑が多く潤



第6回佐世保市都市景観デザイン賞にも選ばれたもみじが丘団地。

いのある住環境づくりに住民が取り組んでいます。

また、最近では、『ガーデニング（園芸・造園）』の人氣が高まり、家庭で花や緑の栽培を楽しむ人が増えています。「うちには庭がないから」という人でも、ベランダや外壁を利用して花や緑を育てることが出来ます。プランター（栽培用容器）には、床置きだけでなく、つり下げ式や壁掛け式など種類も多く、自分のイメージに合ったデザインで花や緑をつくる事ができます。

花や樹木には、それぞれの種類によって特性があり、植物のことをある程度知らないで、うまく育てられないこともあります。これから家庭で花や緑を育てようとする人は、近所で既にやっている人や造園業・園芸店などの専門家にコツを聞いてみるのも、うまく育てる方法の一つです。

初心者向けのガーデニングひとロメモ

- 育てやすい花の選び方は？
- 花の付いた株を植えるほうが育てやすいです（夏から秋にかけては、暑さに強いサルビアやマリゴールドがお勧め）。
- 種から育てる場合は、種の大きさが大きい物を選びましょう。



マリゴールド(左)とサルビア(右)

水やりのポイントとは？

- 夏場は、朝夕の涼しいときに（日中は、葉が焼ける原因になります）、冬場は、反対に温度が上がった日中にやります。
- 花を長い間、楽しむためには？
- 終わった花を摘んでおくと、新しい花がつきやすく、長い間、花を楽しめます。

街の声 INTERVIEW

佐世保公園で出会った皆さんに、緑の親しみ方を尋ねました。



谷川瑠美子さん(右)・香織さん(左)
近所の公園に出掛けて、芝生の上が好きで一緒に遊ぶことがよくあります。家では、観葉植物を育てています。



内野一義さん
緑の多い公園で友達と会って話をしたり、会食したりします。新しい交流が生まれることもあって楽しいですよ。山登りも好きでよく登ります。



100年の森(烏帽子岳)

100年の森構想



「100年の森構想実行委員会」実行委員長
神山 秀美さん

一〇〇年の森の活動は、毎年開催している植樹祭のほか、ドングリ拾い、苗木の水やり、草取りなど、1万人近い人がさまざまな形で参加し、参加者の交流の場にもなっています。烏帽子岳に植えた苗がイノシシに掘り返されたり、苗を枯らしてしまったり、と失敗も経験しましたが、植樹した木の約9割が根付き、初めて植樹した木は1m程に成長しています。当初に市から提供された土地に、これまでに3万本を植樹しましたが、新たに、烏帽子岳の風倒木被害地を次の植樹場所としてはどうかと、市から提案がありました。そこでの植樹は、針葉樹の人工林の中に

もともとあった照葉樹林を再生していくこととなります。参加者からは、「家族で参加してよかった」などと喜びの声も寄せられるほか、「海が汚れるのは、山が荒れているから」と水産業に携わる人も森づくりに関心を寄せて参加しています。この活動を通じて、一人ではできないことも、たくさんの人が集まることで実現するということが実感しました。一〇〇年の森が「人と自然」、「人と人」が交流できる場所になることを願っています。佐世保には国立公園に指定された九十九島があり、開発を免れた自然が残っています。この自然を守り、人と自然が共生できる街になることを願っています。今後も、自然を大切にすることを心がけ、この恵まれた自然環境を次世代へ引き継ぐためにも、市民の皆さんと活動を続けていきたいと思っています。

【一〇〇年の森構想実行委員会】
☎ 8449
http://homepages.nifty.com/forest100/

ドングリを拾い、苗木に育てて植樹し、森をつくる。市制百周年の記念事業として、平成12年の秋に立ち上がったこの計画は、市民の皆さんと行政が一緒になってふるさとの森をつくるというものです。

ふるさと佐世保の木によるふるさと佐世保の森づくり

スギやヒノキなどの針葉樹に比べると、地中深くに根を下ろすので土地の崩壊を防ぎ、保水力が大きいと言われています。これまで、たくさんの方が植樹などの森づくりに参加し、烏帽子岳の「一〇〇年の森」は、着実に成長を続けています。この計画を推進する「一〇〇年の森構想実行委員会」の神山秀美実行委員長にお話を聞きました。



第1回植樹祭(平成15年3月)



中央公園の育苗場



植樹した場所での草取り作業
第3回育樹祭(平成17年5月)